

7.0型ワイドVGAインダッシュTV/DVD-A/DVD-V/VCD/CD/チューナー・
6.1ch対応・WMA/MP3/AAC/DivX/JPEG対応・DSPメインユニット

AVH-P90DVA

取付説明書

本製品はJEITAコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。



PRINTED WITH
SOY INK

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2006

< KOKZF > < 06E00000 > < CRA3862-B >

作業の進めかた

① はじめに

- 接続・取り付け部品を確認する —— 2ページ

② 接続のしかた

- 接続の前に知ってほしいこと —— 6ページ
- 接続端子のなまえと働き —— 8ページ
- 電源コードの接続(本体) —— 10ページ
- 電源コードの接続(ハイダウェイユニット) —— 12ページ
- 本体・ハイダウェイユニット・電源ボックスの接続 —— 14ページ
- システムの接続 —— 16ページ
- スピーカーの接続 1(内蔵アンプを使用する場合1) —— 18ページ
- スピーカーの接続 2(内蔵アンプを使用する場合2) —— 20ページ

- スピーカーの接続 3(外部アンプを使用する場合) —— 22ページ

- RCA映像/音声入力・出力の接続 —— 24ページ
- フィルムアンテナの接続 —— 26ページ

③ 取り付けかた

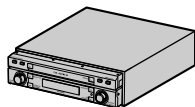
- 取り付けの前に知ってほしいこと —— 27ページ
- ハイダウェイユニットの取り付け —— 29ページ
- 本体の取り付け —— 32ページ
- リモコンの取り付け —— 35ページ
- フィルムアンテナの取り付け —— 36ページ
- フロントパネルを固定する —— 42ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

- 接続・取り付けが終わったら —— 43ページ

接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1



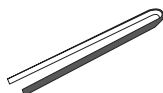
パインドネジ
(5 mm × 6 mm) × 4



パインドネジ
(4 mm × 3 mm) × 4



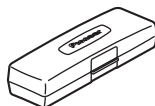
皿ネジ
(5 mm × 6 mm) × 4



目隠しシール × 1



クリーニング
クロス × 1



フロントパネル
保管ケース × 1



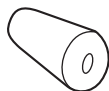
フロントパネル
固定ネジ × 2



タッチパネル用
調整ペン × 1

※タッチパネル用調整ペンは、調整時のみ使用しますので大切に保管してください。使用方法については『取扱説明書』をご覧ください。

別売の取付キット関係



プッシュ × 1



ネジ × 1

別売の取付キットで本機を取り付ける場合

- プッシュを使用して本体を取り付ける場合、本機に付属のネジとプッシュを使用してください。別売の取付キットに同梱のネジ、プッシュを使用すると、正しく取り付けられないため本機の故障の原因となります。

ハイダウェイユニット関係



ハイダウェイ
ユニット × 1



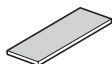
取付アングル × 4



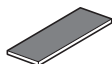
タッピングネジ
(4 mm × 12 mm) × 4



座付きネジ
(4 mm × 8 mm) × 4

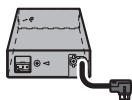


マジックテープ (大)
(かたい方) × 2



マジックテープ (大)
(やわらかい方) × 2

電源ボックス関係



電源ボックス × 1

リモコン関係



リモコン × 1



リチウム電池
(CR2025) × 1



マジックテープ (小)
(かたい方) × 1



マジックテープ (小)
(やわらかい方) × 1

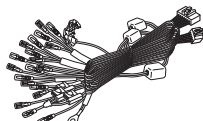
接続・取り付け部品を確認する

つづき

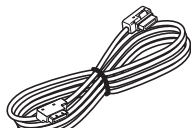
コード関係



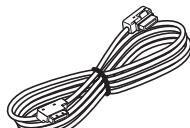
電源コード
(本体用) × 1



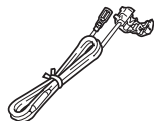
電源コード (ハイダ
ウェイユニット用) × 1



30ピンケーブル
(青) (6 m) × 1



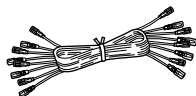
30ピンケーブル
(紫) (6 m) × 1



紫/白リード線延長
コード (8 m) × 1



アンテナ延長
ケーブル (6 m) × 1

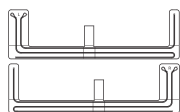


スピーカー延長
コード (6 m) × 4



音響特性測定用
マイク × 1
(E33 取扱説明書)

フィルムアンテナ関係



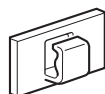
フィルムアンテナ
左用・右用 各1



ブースターアンプ × 1



クリーナークロス × 1



クランパー × 6

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと、テレビやDVDなどの映像を見ることができなくなります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（オートアンテナ）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続のポイント

ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、フィルムアンテナおよびアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。
 - * 30ピンケーブル
 - * 26ピンコンポーネントケーブル
 - * 21ピンケーブル
 - * 本体
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * RGBケーブル
 - * IP-BUSケーブル
 - * 光デジタルケーブル
 - * RCAコード
 - * 電源コード
 - * 車のコードおよび機器類
 - * ナビゲーション本体
 - * GPSアンテナ
 - * バックカメラケーブル

それぞれのコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

30ピンRGBおよびIP-BUSの接続について

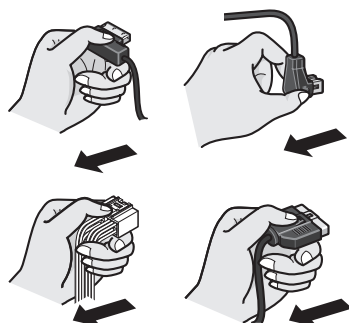
- 30ピンRGBおよびIP-BUSの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください(コネクターの接続部分が色分けされています)。違う色のコネク터를接続すると、正常に動作しないことがあります。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

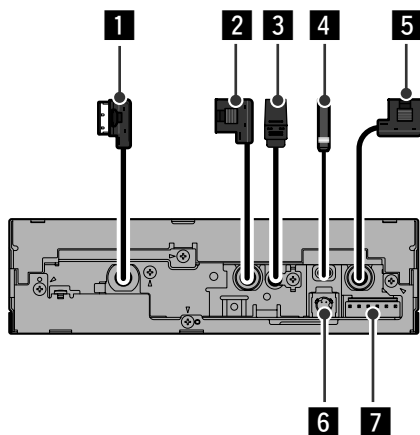
コネクターの着脱のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

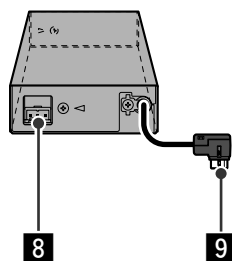


接続端子のなまえと働き

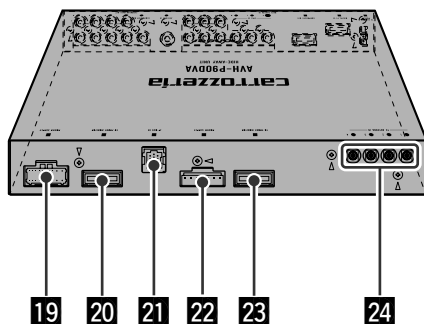
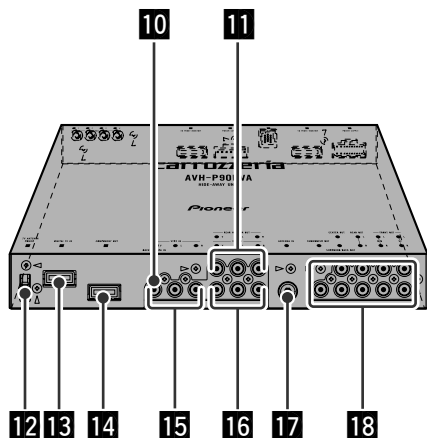
本体



電源ボックス



ハイダウェイユニット



1 30ピンRGBケーブル (若草色) (40 cm)

パイオニア製の30ピンRGB出力付きのナビゲーション (例: AVIC-H009) と接続します。

2 30ピン入力端子 (紫) (40 cm)

30ピンケーブルで、ハイダウエイユニットと接続します。

3 21ピン入力端子 (白) (15 cm)

電源ボックスと接続します。

4 音響特性測定用マイク入力端子 /AUX入力端子 (1.5 m)

オートイコライジングをするときに、付属の音響特性測定用マイクを接続します。または市販のステレオミニプラグを接続します。(※ 取扱説明書)

5 30ピン入力端子 (青) (40 cm)

30ピンケーブルで、ハイダウエイユニットと接続します。

6 光デジタル入力端子 (青)

パイオニア製の光デジタル出力付きの製品と接続します。

7 電源

付属の電源コード* (本体用) を接続します。

8 電源

付属の電源コード* (本体用) を接続します。

9 21ピン出力端子 (白) (1 m)

本体と接続します。

10 バックカメラ入力端子 (黄)

バックカメラを接続します。

11 リアモニター映像出力端子 (黄) /リアモニター音声出力端子 (白・赤)

リアモニター (後部座席用モニター) 用の信号が出力されます。後部座席に設置するモニターの入力端子と接続してください。それ以外は、何も接続しないでください。

12 フィルムアンテナ電源

ブースターアンプの電源コードを接続します。

13 26ピンコンポーネント入力端子 (白)

パイオニア製の地上デジタルTVチューナーと接続します。

14 26ピンコンポーネント出力端子 (青)

パイオニア製の26ピンコンポーネント入力付きのモニターと接続します。

15 映像入力2 (黄)/音声入力2 (白・赤)

RCA出力付きポータブルビデオなどを接続することができます。

16 映像入力1 (黄)/音声入力1 (白・赤)

RCA出力付きポータブルビデオなどを接続することができます。

17 アンテナジャック

カーアンテナプラグを接続します。

18 スピーカー出力端子 (RCA)

スピーカーやサブウーファーに接続します。

19 電源

付属の電源コード (ハイダウエイユニット用) を接続します。

20 30ピン出力端子 (青)

30ピンケーブル (青) で、本体と接続します。

21 IP-BUS入力端子 (青)

IP-BUS出力のある製品を接続します。

22 電源

付属の電源コード (ハイダウエイユニット用) を接続します。

23 30ピン出力端子 (紫)

30ピンケーブル (紫) で、本体と接続します。

24 フィルムアンテナ接続端子1~4

付属のフィルムアンテナを接続します。1から順に接続してください。

電源コードの接続 (本体)

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —

本機をスピーカーを6ch以上で使用する場合の接続方法です。必ず電源配線キット「RD-221」(別売)を使用して接続してください。

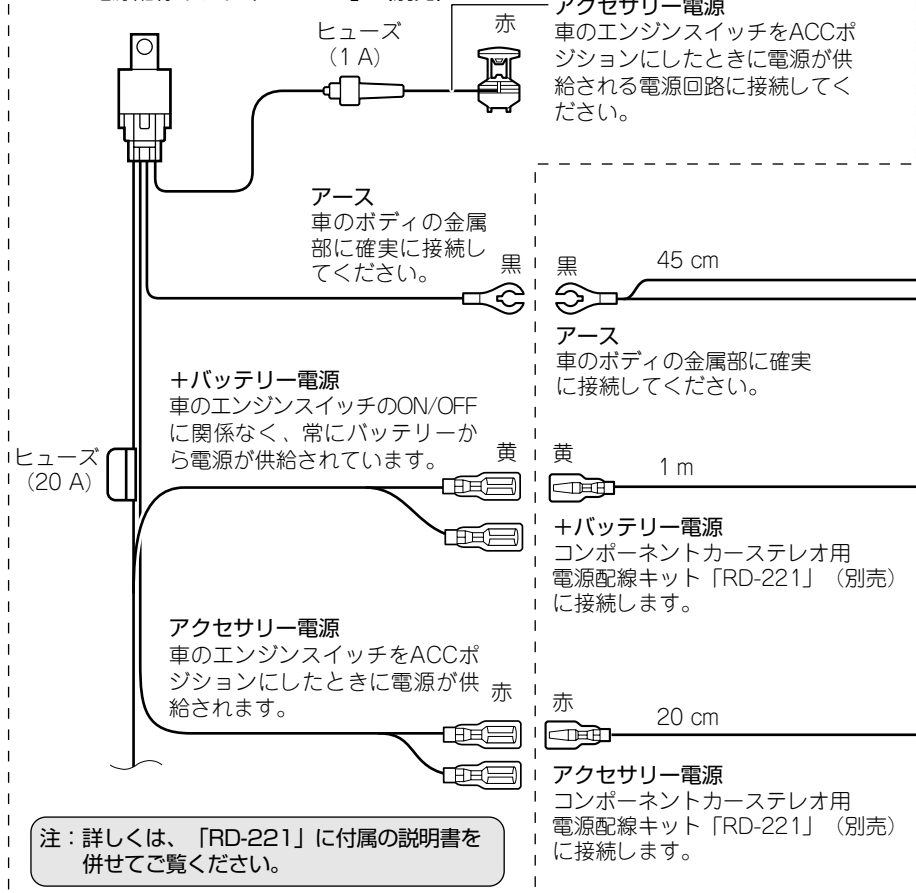
注：赤、橙/白リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

オートアンテナ 青 (20 cm)

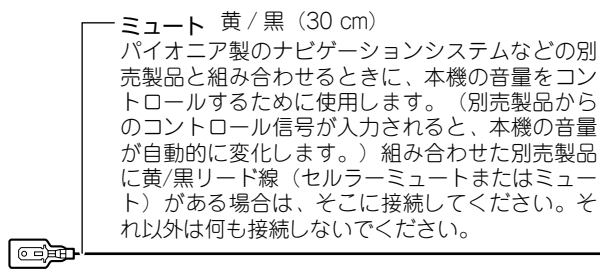
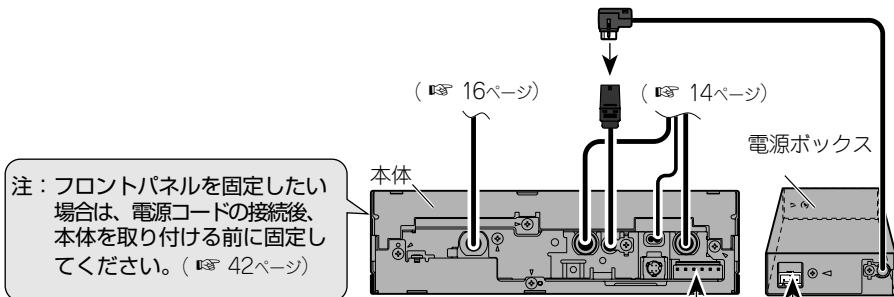
アンテナをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。) 下記以外の場合は、何も接続しないでください。

- オートアンテナ車の場合：車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。
- アンテナプースターの電源がある車の場合：アンテナプースターの電源入力端子に接続してください。

コンポーネントカーステレオ用
電源配線キット「RD-221」(別売)



注：詳しくは、「RD-221」に付属の説明書を併せてご覧ください。



注：製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

ヒューズ (7.5 A)

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：電源コードの、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

ヒューズ抵抗

橙/白 20 cm

ヒューズ抵抗

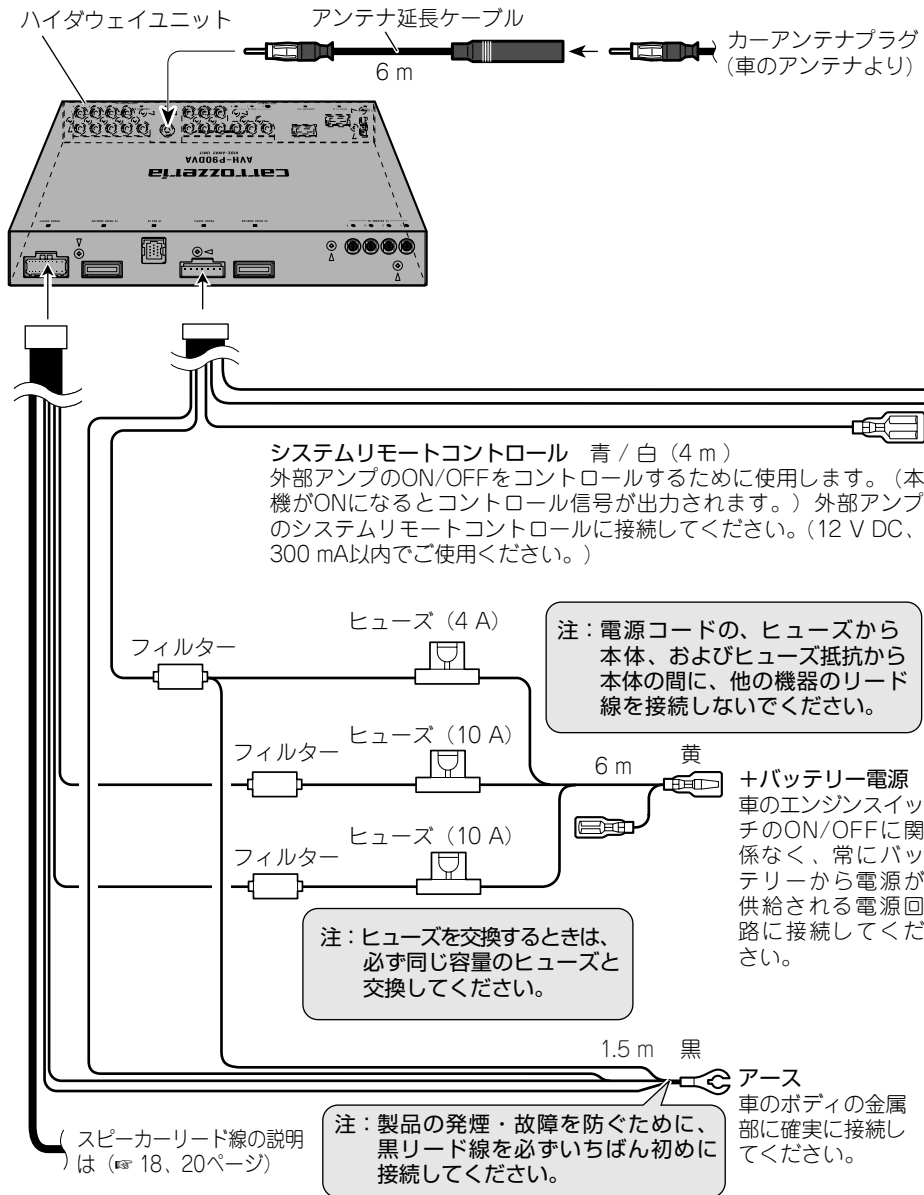
イルミ電源

車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路(時計の照明回路やスマールランプ回路など)に接続してください。

電源コードの接続 (ハイダウェイユニット)

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —

本機をスピーカーを6ch以上で使用する場合、ハイダウェイユニットの黄リード線は、必ず電源配線キット「RD-221」(別売)を使用して接続してください。(※ 10ページ)



15 cm 紫 / 白 8 m

バック信号入力

この接続は車の前進 / 後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

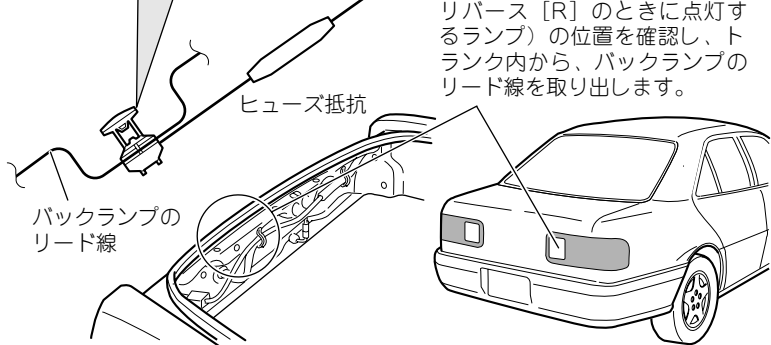
※バックカメラを使用する場合は必ず接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。

接続方法



バックランプのリード線をはさみ込む。 → ラジオペンチで強くはさむ。

バックランプ（シフトレバーがリバース [R] のときに点灯するランプ）の位置を確認し、トランク内から、バックランプのリード線を取り出します。



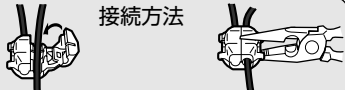
注：このリード線の接続を間違ったり、忘れてたりすると、テレビやDVDなどの映像を見ることができなくなります。

3.4 m 若草色

+側

アース側

接続方法

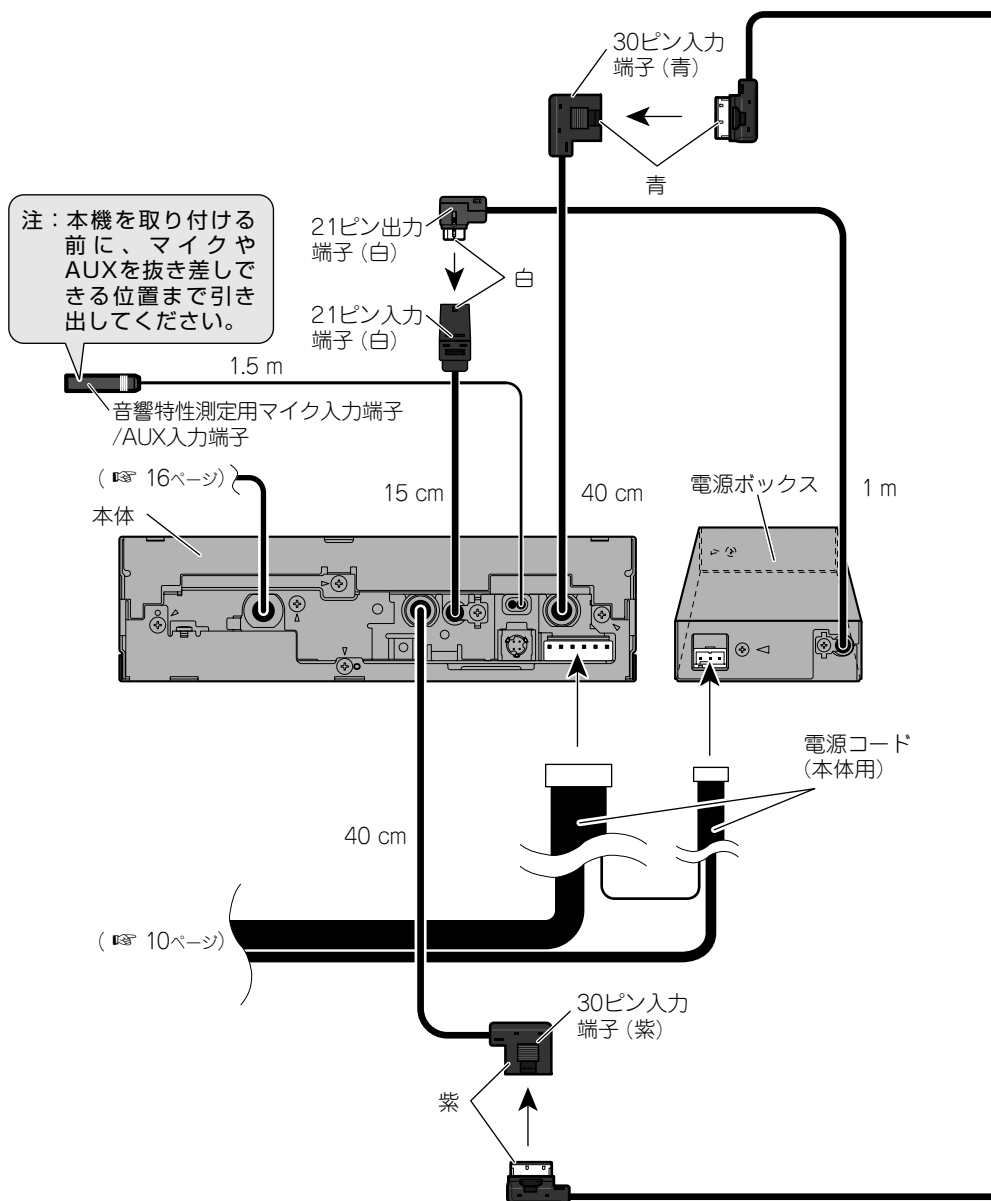


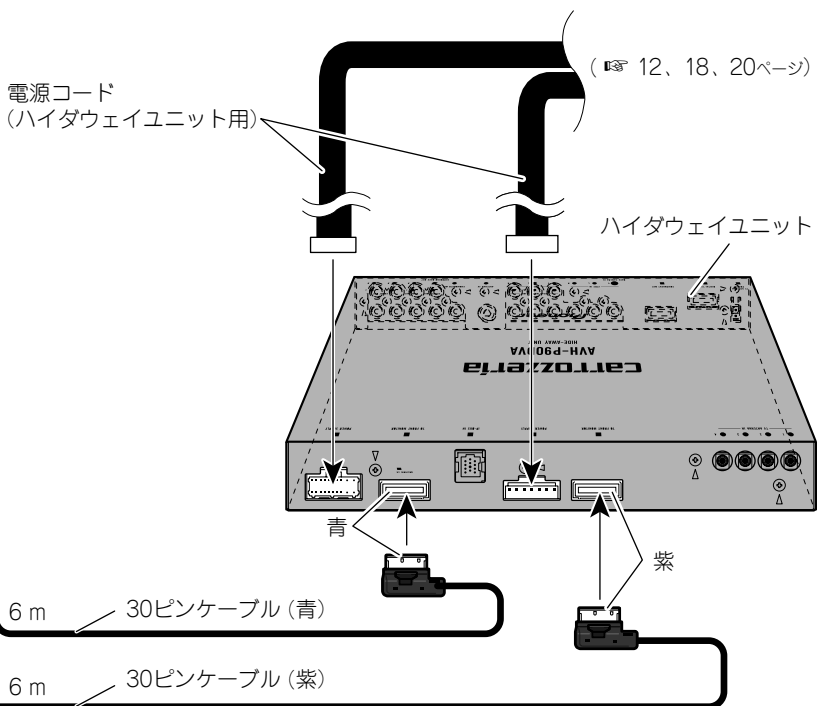
パーキングブレーキスイッチの+側リード線をはさみ込む。 → ラジオペンチで強くはさむ。

パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体・ハイダウェイユニット・電源ボックスの接続

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —

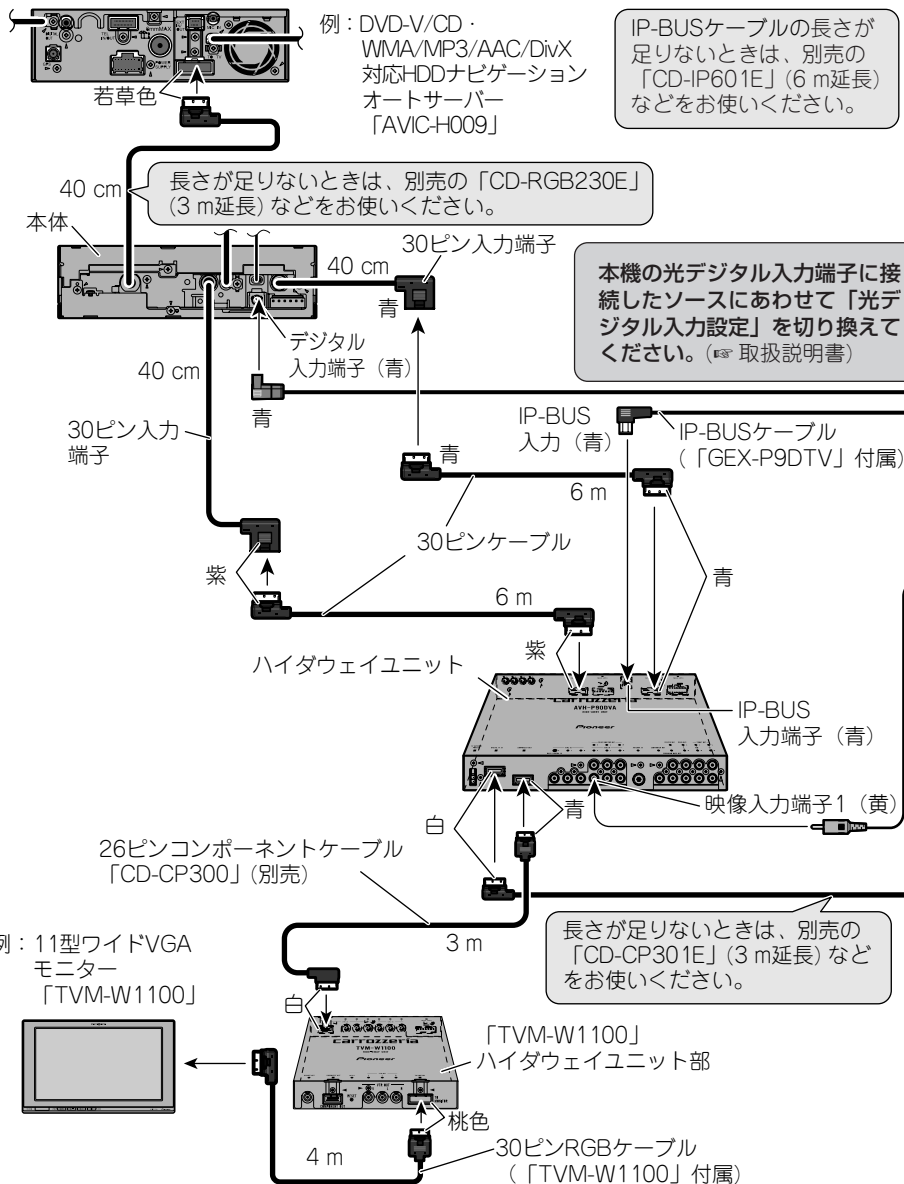


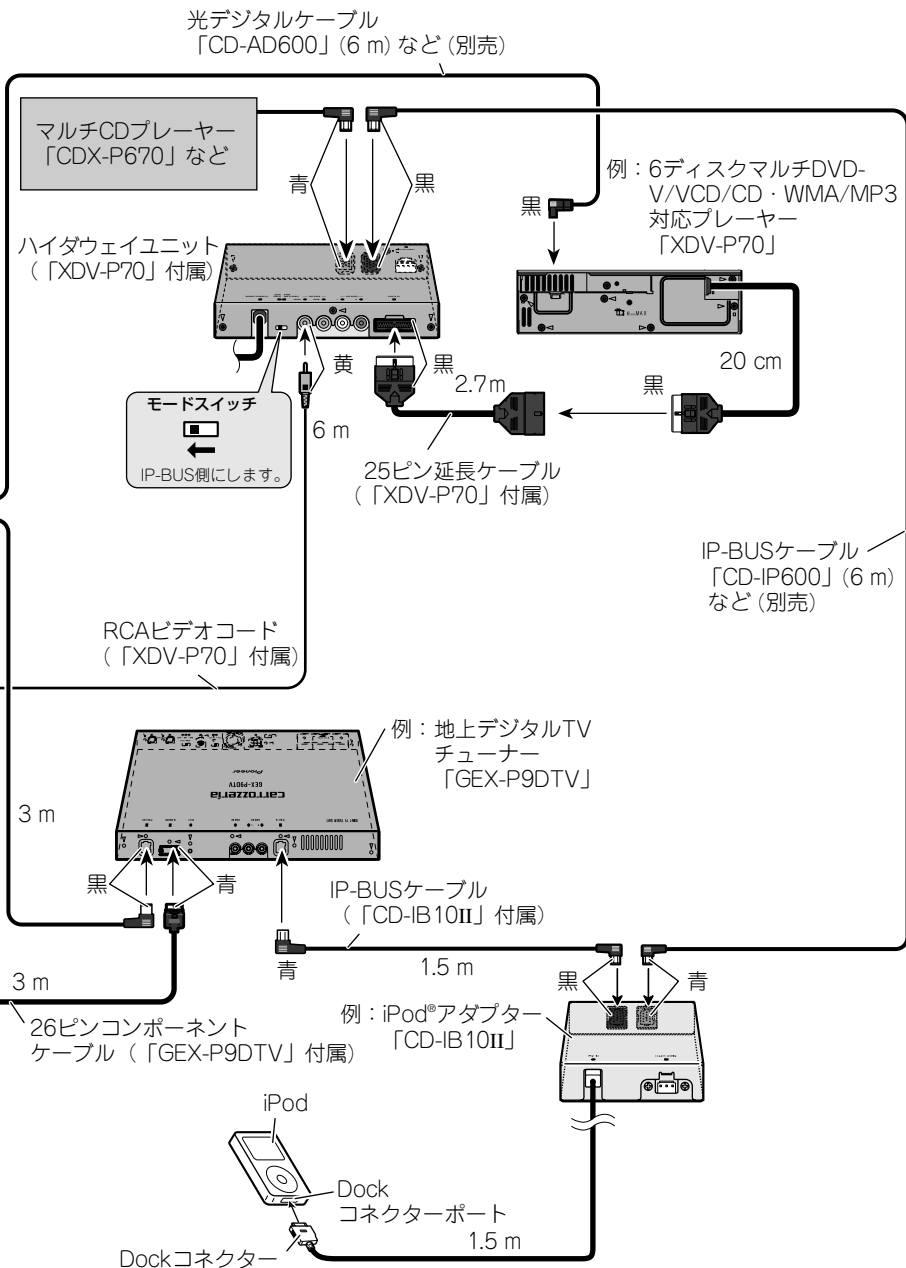


システムの接続

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —

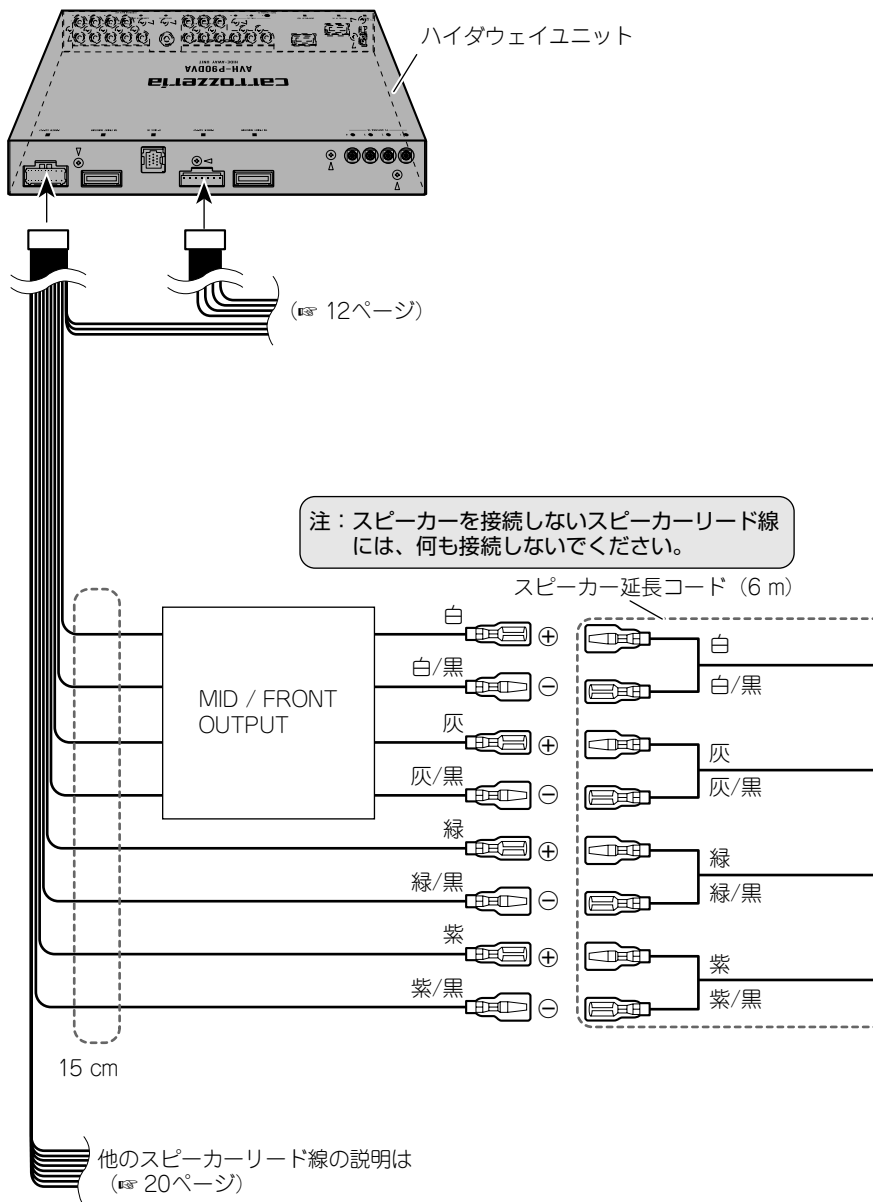
本機と、別売のDVD-V/CD・WMA/MP3/AAC/DivX対応HDDナビゲーションオートサーバー「AVIC-H009」を組み合わせた場合、「AVIC-H009」に付属の電源ケーブルを使用してください。（この場合、本機の電源ケーブル（本体用）は使用しません。）

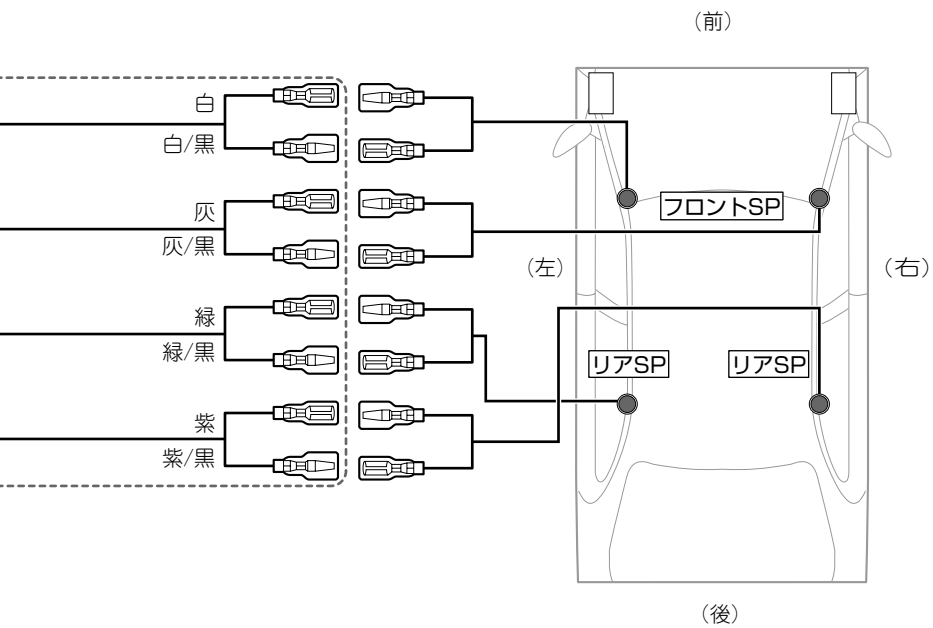




スピーカーの接続 1 (内蔵アンプを使用する場合 1)

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —





スピーカーの接続 2 (内蔵アンプを使用する場合 2)

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —

本機をスピーカーを6ch以上で使用する場合、電源コードの接続は必ず電源配線キット「RD-221」(別売)を使用して接続してください。(P. 10ページ)

サブウーファー出力(黒)



ハイダウエイユニット

(P. 12ページ)

本機のDSPモードがネットワークモードのときに接続します。

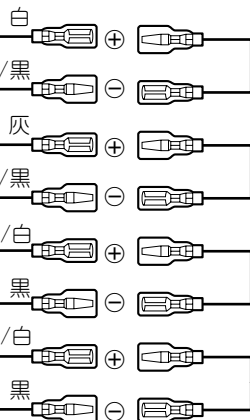
注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

15 cm

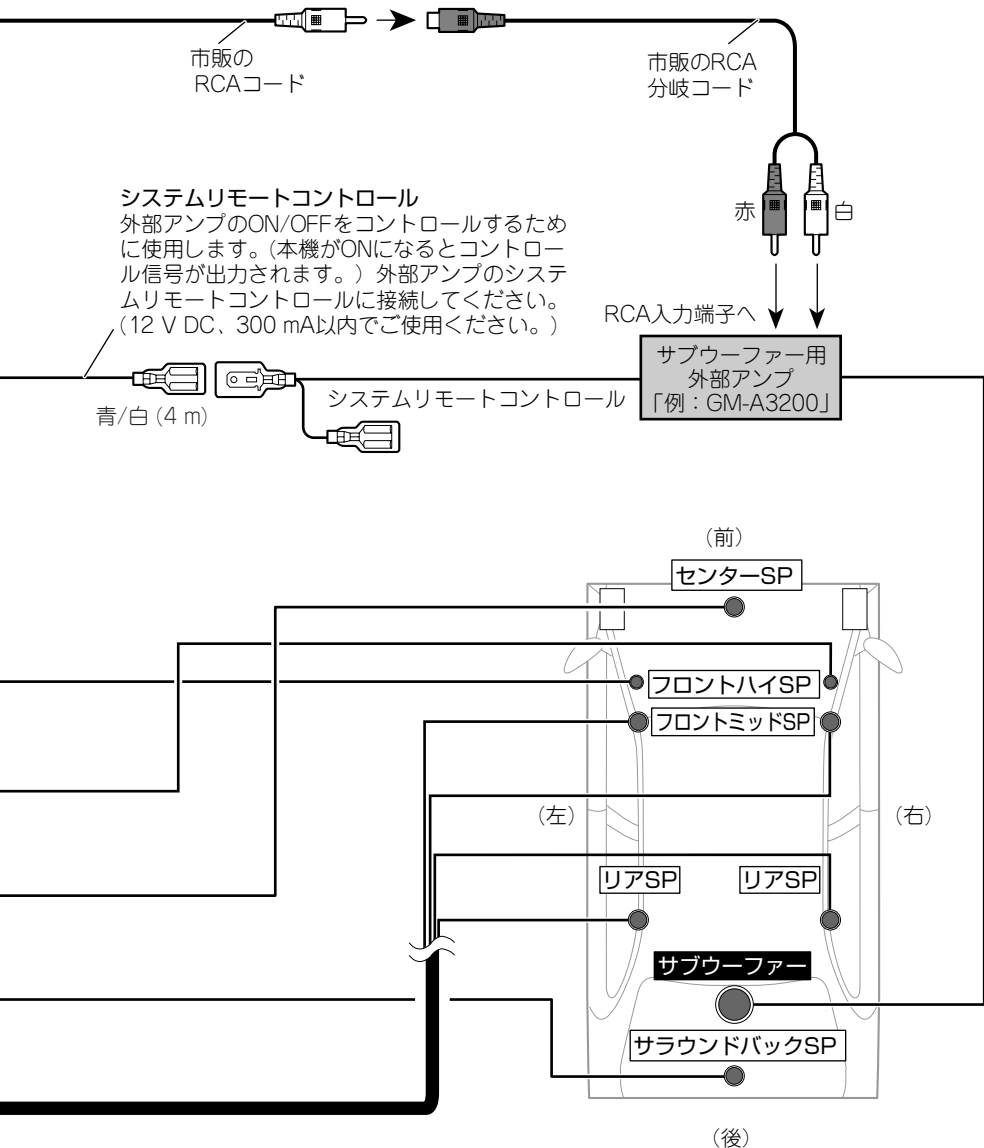
FRONT HIGH OUTPUT

CENTER OUTPUT

SURROUND BACK OUTPUT

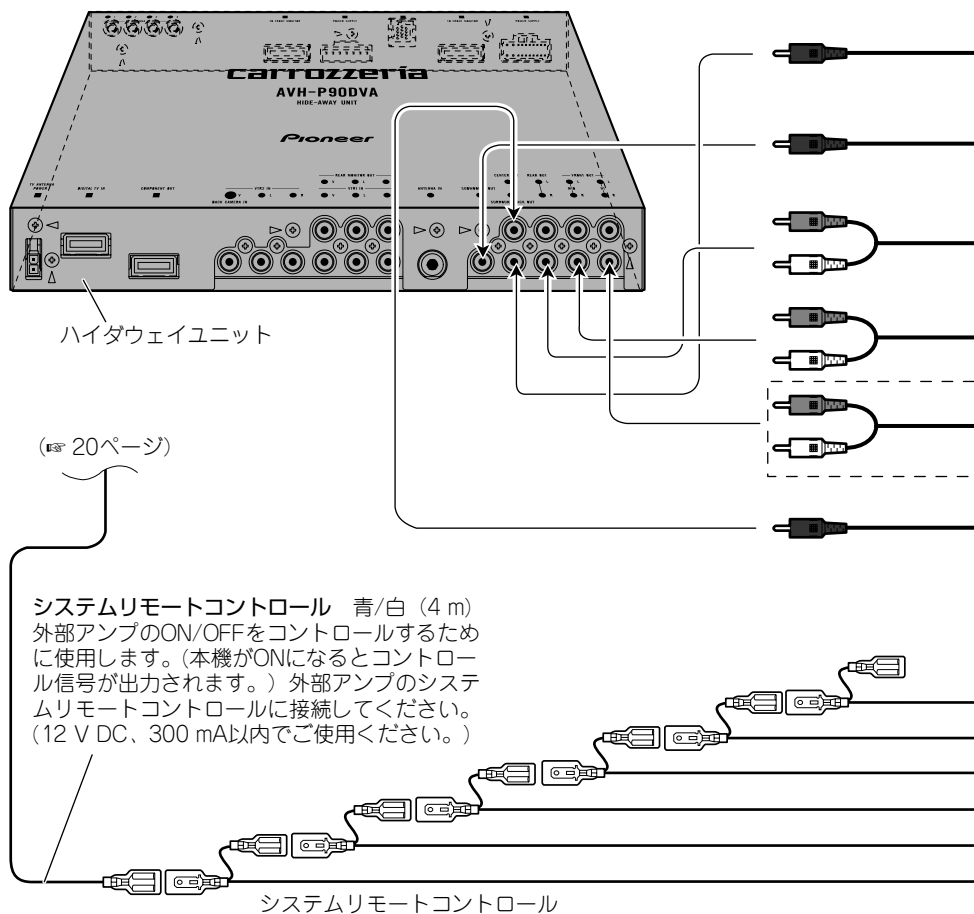


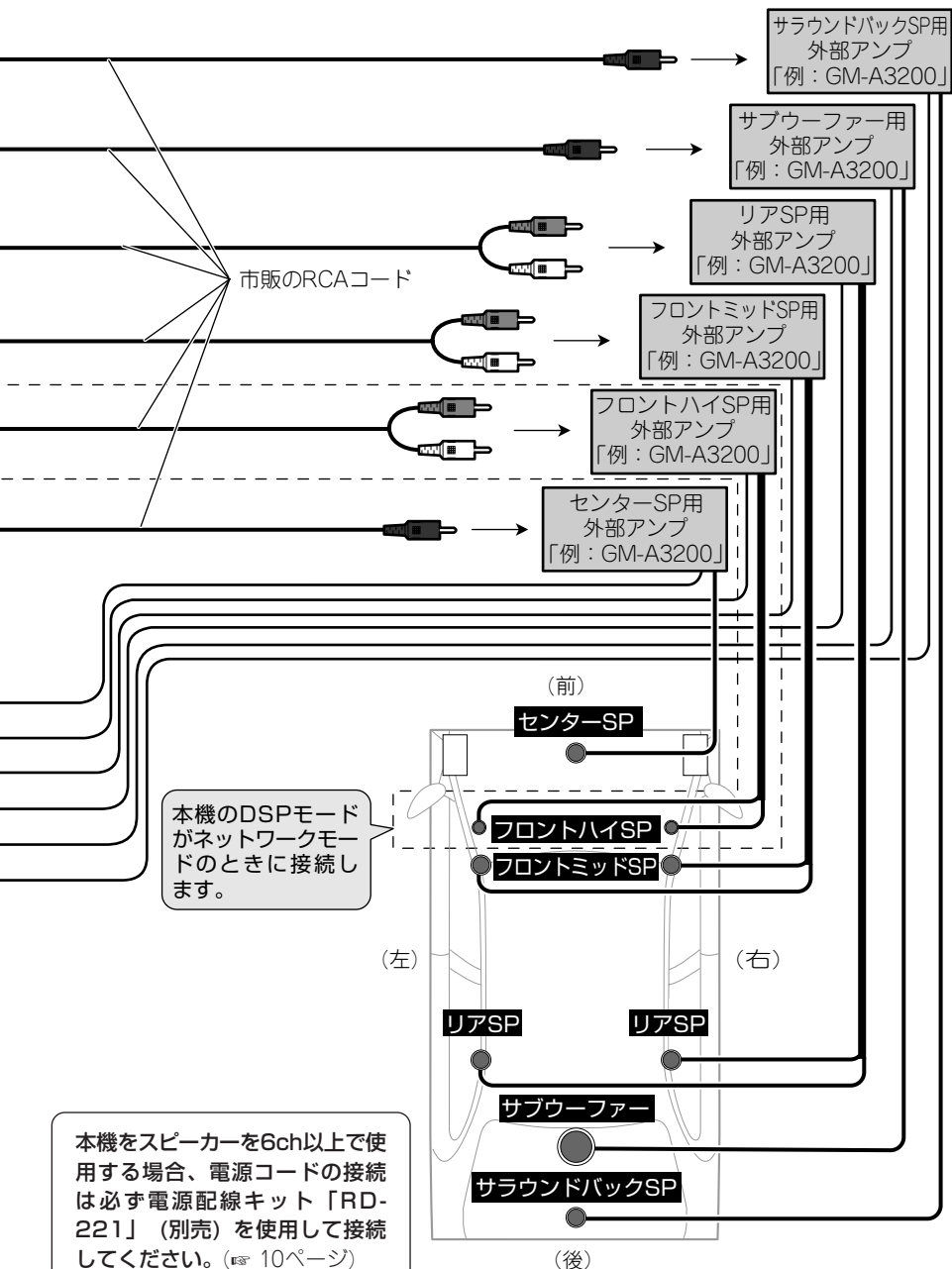
他のスピーカーリード線の説明は (P. 18ページ)



スピーカーの接続 3 (外部アンプを使用する場合)

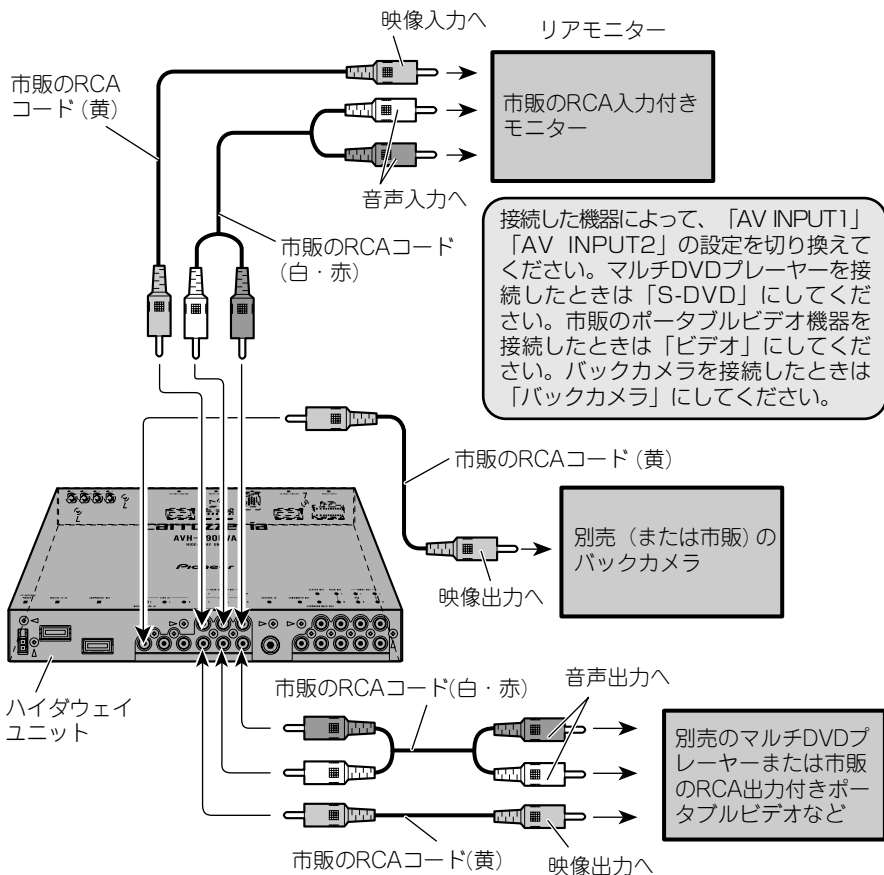
— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —





RCA映像/音声入力・出力の接続

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —



警告

リアモニター出力に接続したモニターを使用する場合



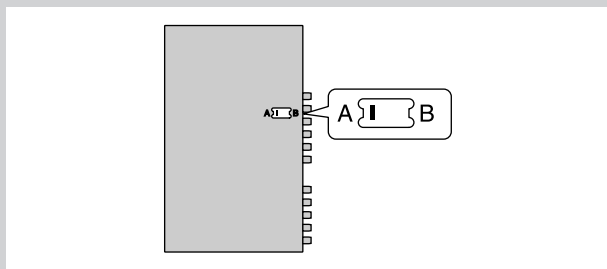
本機のリアモニター出力は、後部座席でテレビやDVDを見るモニターを接続するためのものです。リアモニター出力に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置には、絶対に設置しないでください。

リアモニター出力に、後部座席専用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力はパーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。

市販のバックカメラを使用する場合は、鏡像タイプをお勧めします。

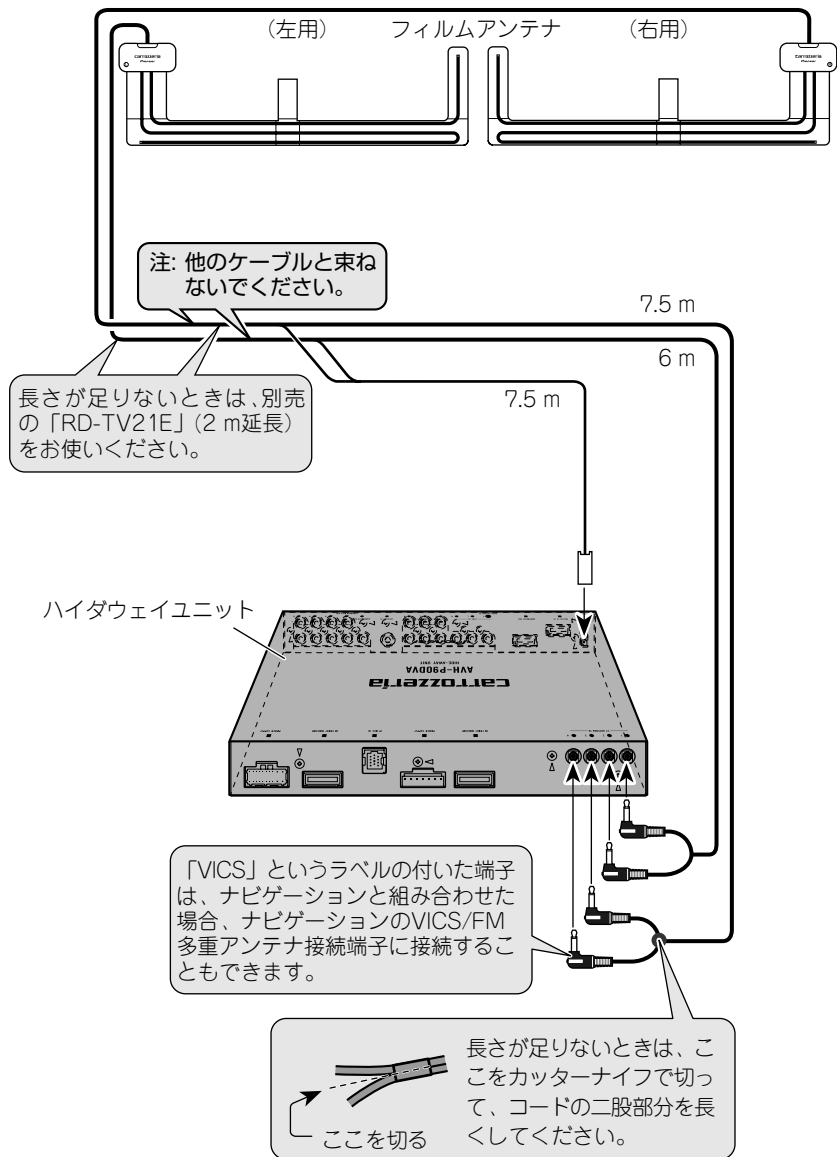
映像入力1 (黄) について

接続した機器によっては、その画像が乱れる場合があります。その場合はハイダウェイユニット底面にある映像切換スイッチを切り換えて、画像の乱れの少ない方を選んでください。映像切換スイッチはドライバーなどを使用して切り換えてください。



フィルムアンテナの接続

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —



取り付けの前に知ってほしいこと

ダッシュボード付近に本製品を取り付ける場合のご注意

下記の点にご注意ください。

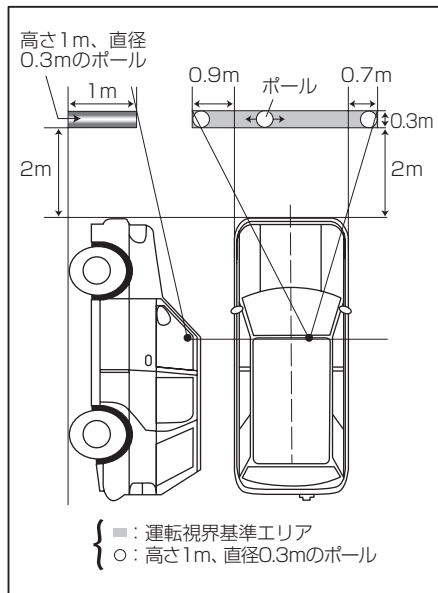
- ・前方視界を妨げない
- ・直前側方視界を妨げない
- ・エアバッグシステムの動作を妨げない
- ・ナビゲーションモニターに関しては運転中の視線移動が少ないように

前方視界および直前側方視界を妨げる位置に取り付けると、道路運送車両の保安基準*に適合せず車検に通らなかったり整備不良の対象となる場合があります。

*保安基準とは、昭和26年7月28日施行 運輸省令第67号道路運送車両の保安基準における第21条及び第44条第5項の告示で定める基準をいいます。

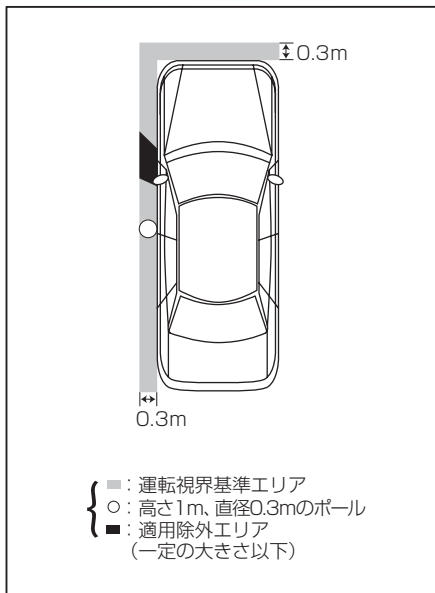
前方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接確認できるように取り付けてください。



直前側方視界に関して

運転者が通常の運転状態における視点において、下図のポールが直接またはミラーやカメラ画像で確認できるように取り付けてください。



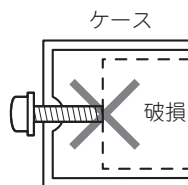
注) いずれの基準も左ハンドル車の場合は左右逆となります。

取り付けの前に知ってほしいこと

つづき

取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずを外れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けかないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- 日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「AD-N980」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。

粘着テープを貼り付ける前に

- マジックテープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。また、粘着テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

ノイズ防止のために

- フィルムアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。フィルムアンテナは、「フィルムアンテナの取り付け」(P.36ページ)の説明に従って正しく取り付けてください。
- ノイズ防止のため、フィルムアンテナおよびアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。
 - * 30ピンケーブル
 - * 26ピンコンポーネントケーブル
 - * 21ピンケーブル
 - * 本体
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * RGBケーブル
 - * IP-BUSケーブル
 - * 光デジタルケーブル
 - * RCAコード
 - * 電源コード
 - * 車のコードおよび機器類
 - * ナビゲーション本体
 - * GPSアンテナ
 - * バックカメラケーブル

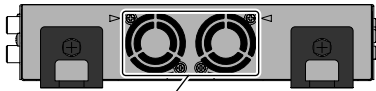
それぞれのコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信度が悪くなります。

ハイダウェイユニットの取り付け

取り付け上のご注意

- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
 - * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
 - * ヒーターの吹き出し口の近く。
- 本機は冷却効果を高めるため冷却ファンを使用しています。このため、冷却ファンの周辺は十分なスペースをあけて取り付けてください。また、ヒーターの吹き出し口など高温になる場所への取り付けや、カーマットなどで本機全体を覆うなどの取り付けかたは絶対に行わないでください。

ハイダウェイユニット側面



この部分をふさがないでください。

- ファンの周辺は10 cm以上スペースをあけて取り付けてください。
- ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。
- スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。
- ハイダウェイユニットを車室内に取り付ける場合は、しっかりと固定して取り付けてください。外れるとケガや事故の原因となる場合があります。
- ハイダウェイユニットを設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が働き動作停止することがあります。このような場所には取り付けしないでください。
- ハイダウェイユニットは、GPSアンテナからできるだけ離して取り付けてください。GPSアンテナの受信感度が悪くなる恐れがありますので、GPSアンテナの近くには取り付けしないでください。
- フロントシート下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。

電源ボックスを配置上のご注意

- できるだけアンテナケーブルから離して配置してください。
- 運転の妨げにならない位置に配置してください。

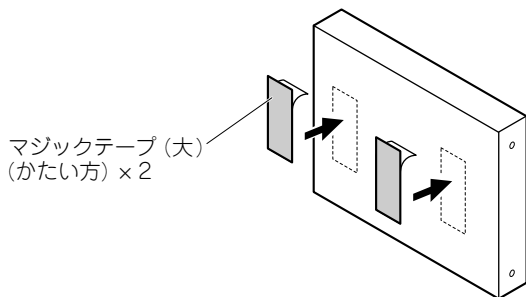
ハイダウェイユニットの取り付け

つづき

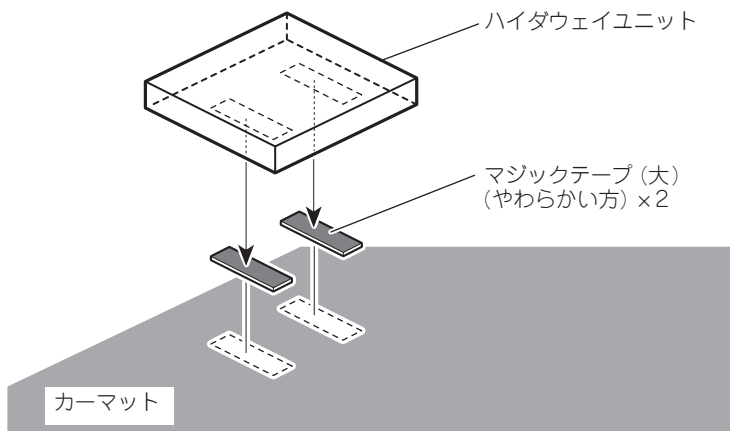
マジックテープでの取り付けかた

1 マジックテープ (大) (かたい方) をハイダウェイユニットの底面に貼り付ける

マジックテープを貼り付ける前に、汚れをよくふきとってください。



2 マジックテープ (大) (やわらかい方) を取り付け場所に貼り付ける



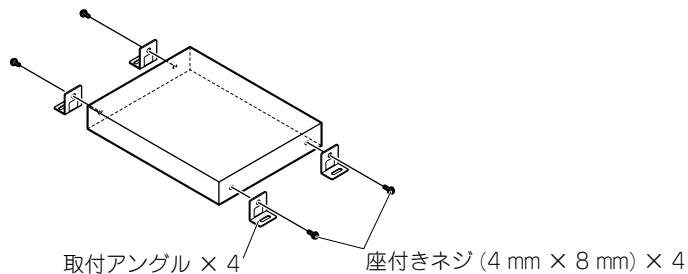
メモ

- マジックテープ (大) (かたい方) がカーマットにくっつく場合は、カーマットに直接取り付けることもできます。この場合、マジックテープ (大) (やわらかい方) は使用しません。

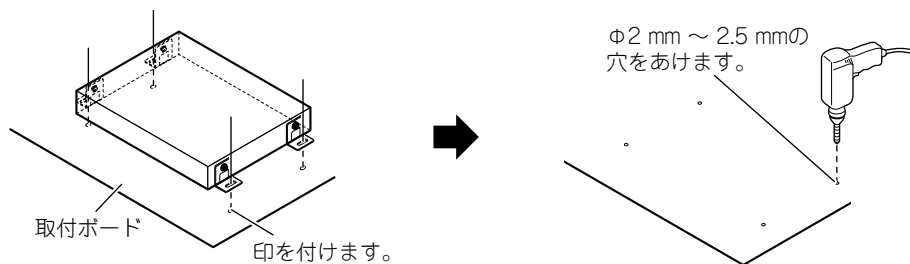
取付アングルでの取り付けかた

1 取付アングルをハイダウェイユニットに取り付ける

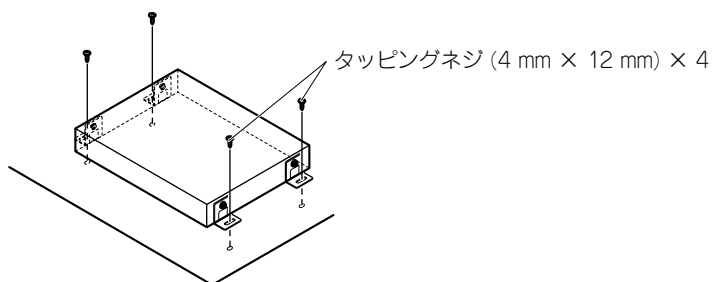
ハイダウェイユニットを車に取り付けるために、取付アングルをハイダウェイユニットに取り付けます。



2 取り付ける位置を決め、穴を開ける



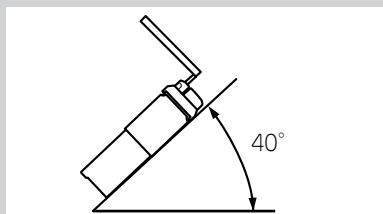
3 タッピングネジで、しっかり固定する



● 本体の取り付け

取り付け上のご注意

- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して40度以内の角度で取り付けてください。

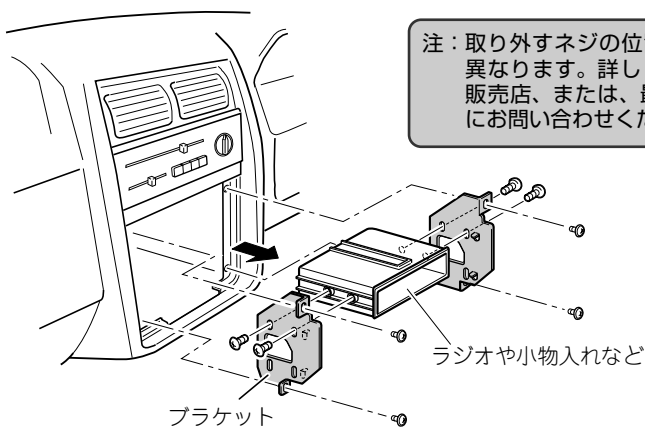


- 必ず本機に付属のネジを使用して取り付けてください。付属のネジよりも長いものを使用すると、本機内部の部品をいためたり、モニター部が立ち上がらなくなることがあります。

- 車種によっては、モニターが立ち上がったときに、車のエアコンなどの操作ボタンを押してしまうことがあります。このようなときは販売店にご相談ください。
- 本機とカーナビゲーションシステムを重ねて取り付けるときは、本機を上にして取り付けてください。本機を下に取り付けると、モニターが立ち上がったときに、カーナビゲーション本体を隠してしまい、カーナビゲーションの操作の妨げになります。
- 車種によっては、モニターがコンソールやダッシュボードに当たってしまい、モニターの角度を上向きに調節できない場合があります。
- エアバッグなどの安全装置装着車の場合には、安全装置の作動に支障のないように取り付けてください。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



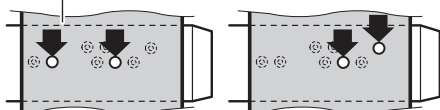
注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。
 ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

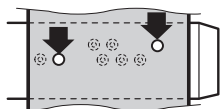
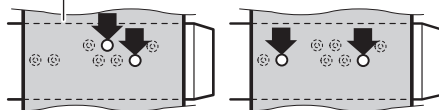
トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



日産車の場合

日産車ブラケット



■ 取り付けスペースの奥行きが少ない車に取り付ける場合

本機の奥行きは、一般のカーステレオよりもやや長くできています。通常のネジ穴の位置でコンソールに収納できない場合は、使用するネジ穴を後側にずらして取り付ける事も可能です。

例：日産車の場合

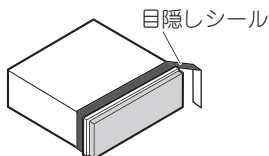
	タイプ 1	タイプ 2
通常のネジ穴を使用する場合	<p>日産車ブラケット</p>	
後側のネジ穴を使用する場合		

取り付けスペースの奥行きが少ないなどの理由で「後側のネジ穴を使用する場合」には、加工するなどして、必ず片側2カ所ずつネジ止めしてください。片側1カ所止めの場合、音飛びや故障の原因となります。また、車種によっては窓口パネルの加工なども必要となりますので、商品の取り付けにあたっては、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 本体の取り付け

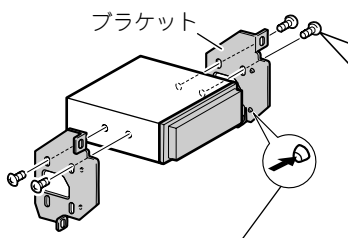
つづき

ネジ穴を後方にずらして取り付けた場合は、付属の目隠しシールを本機前面に貼り付けます。



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



バインドネジ (5 mm × 6 mm) ×4	バインドネジ (4 mm × 3 mm) ×4	皿ネジ (5 mm × 6 mm) ×4

ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。

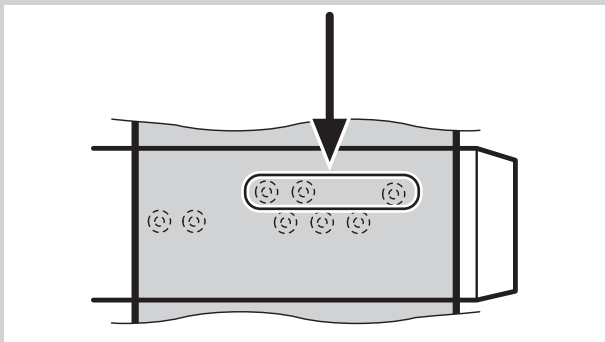
車両側のブラケットの凸部やツメがじゃまになり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。

***作業の際には安全に十分ご注意ください。**

注：付属のネジ以外は使用しないでください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。

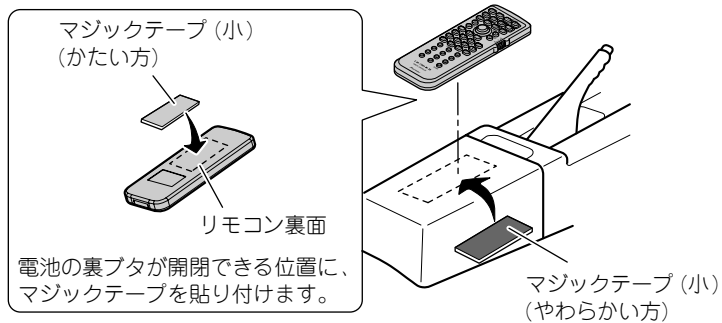
ブラケット取り付け時のご注意

左側、右側、どちらも下記のネジ穴は付属のバインドネジ (4 mm × 3 mm) を使用してください。



リモコンの取り付け

リモコンは、付属のマジックテープ(小)を使用して取り付けます。



フィルムアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが、故障ではありません。
- アンテナは、フロントウィンドウ専用です。車体の側面（ドアやフロントクォーターウィンドウなど）や、後面（リアウィンドウなど）に貼り付けると、受信感度が低下する場合があります。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- フロントガラスに横352 mm × 縦103 mmの2枚分のスペースが無い車には、取り付けることができません。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
- *保安基準は、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、平成15年9月26日付の運輸省（現、国土交通省）令第95号をいいます。
- フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。
- 作業は、風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無いときに行ってください。
- 気温が低いときに作業を行う場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めておいてください。

一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。

必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

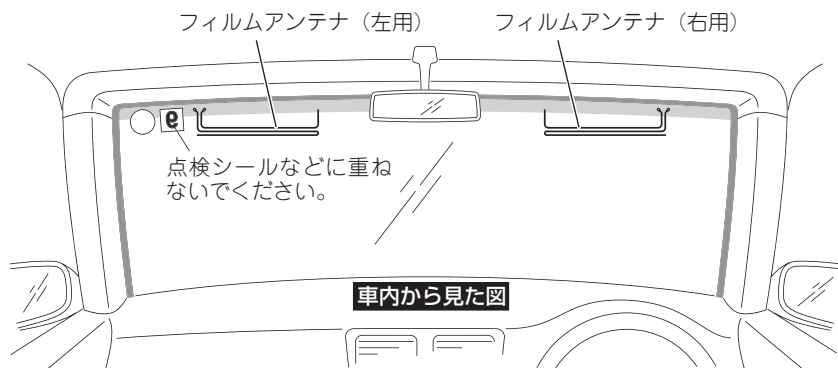
ナビゲーションと組み合わせる場合のご注意

- ナビゲーションに付属の取付説明書も合わせてご覧ください。

貼り付け位置について

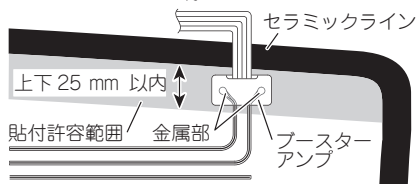
⚠️ 必ずお守りください

運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず下図の「ブースターアンブおよび金属部の貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

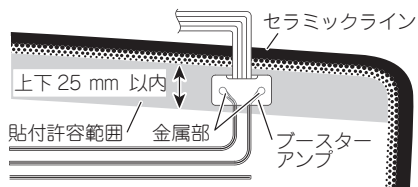
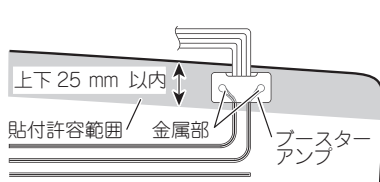


ブースターアンブおよび金属部の貼付許容範囲

■ セラミックライン有り



■ セラミックライン無し

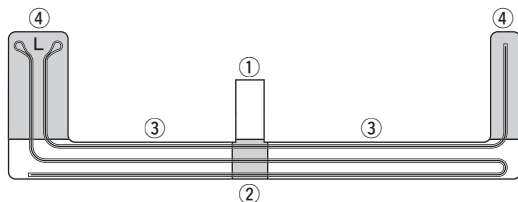


フィルムアンテナの取り付け

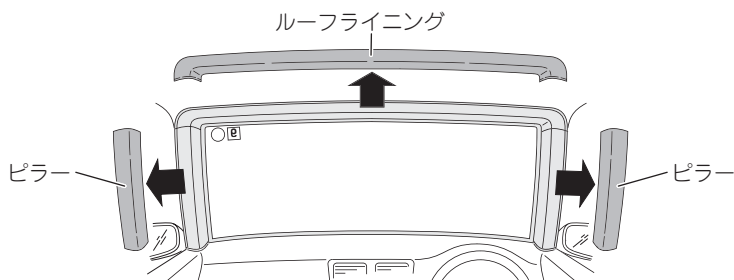
つづき

フィルムアンテナを貼り付ける

フィルムアンテナの裏シートには5本の切り込みが入っています。下図の番号順に裏シートをはがし、フィルムアンテナをフロントウィンドウに貼り付けます。

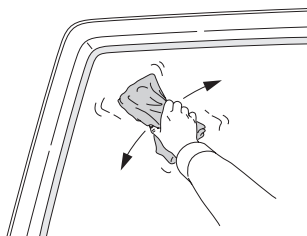


1 車内の内張り（ピラー、ルーファイニングなど）を取り外す



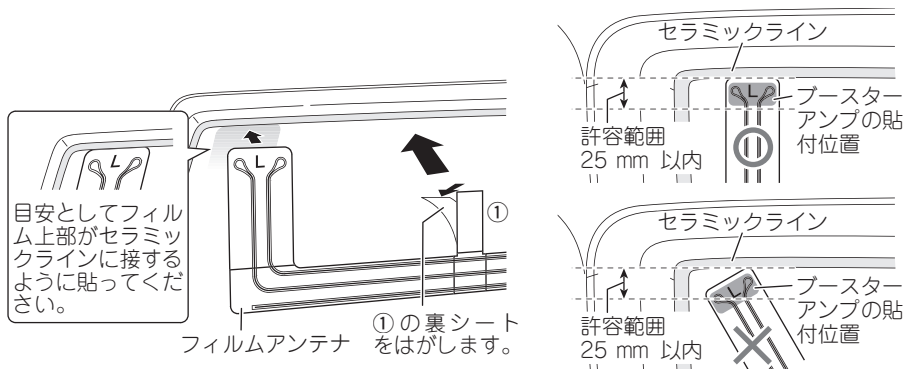
2 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。



3 ①をはがし、フロントウィンドウ内側に仮貼りをを行い、貼り付け位置を決める

フィルムアンテナには左用、右用があります。①は左側に、⑥は右側に貼り付けてください。

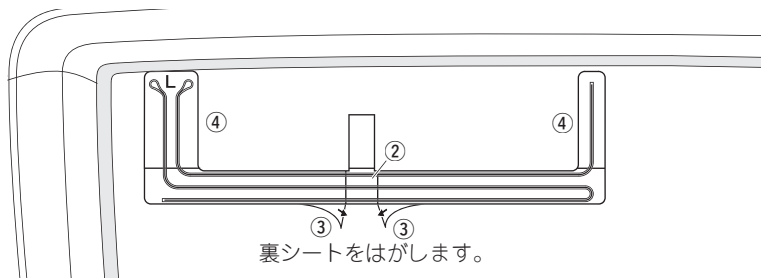


メモ

- 取り付け例として、セラミックラインが有る車で説明しています。詳しくは貼付許容範囲 (P. 37ページ) を参照してください。

4 ②~④を番号順にはがしながら、フロントウィンドウにしっかりと密着させる

- ③、④は左右どちらが先でもかまいません。
- ③、④をはがす時には、内側からシワにならないように密着させてください。

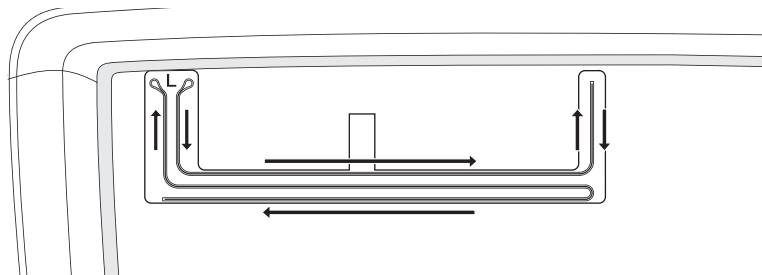


フィルムアンテナの取り付け

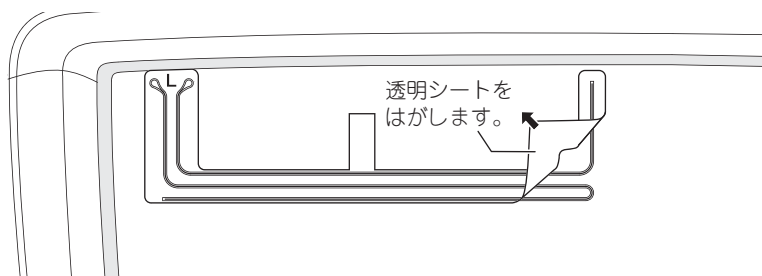
つづき

5 透明シートの上からしっかりと密着させる

下図の矢印の方向に、アンテナパターンに沿ってこすり、密着させてください。



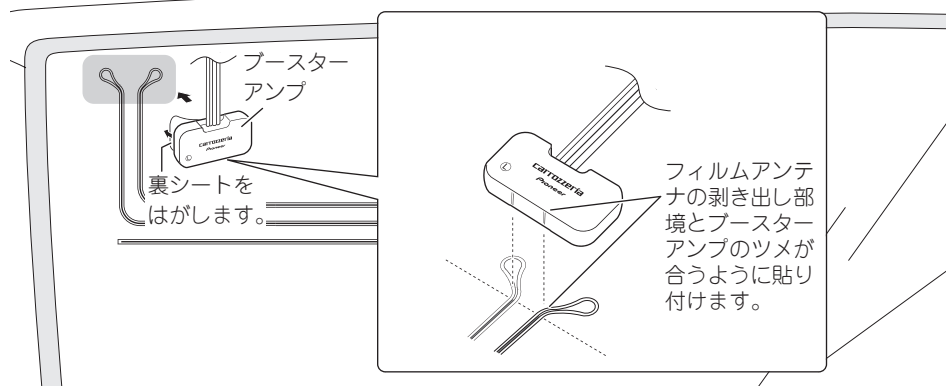
6 透明シートをゆっくりとはがす



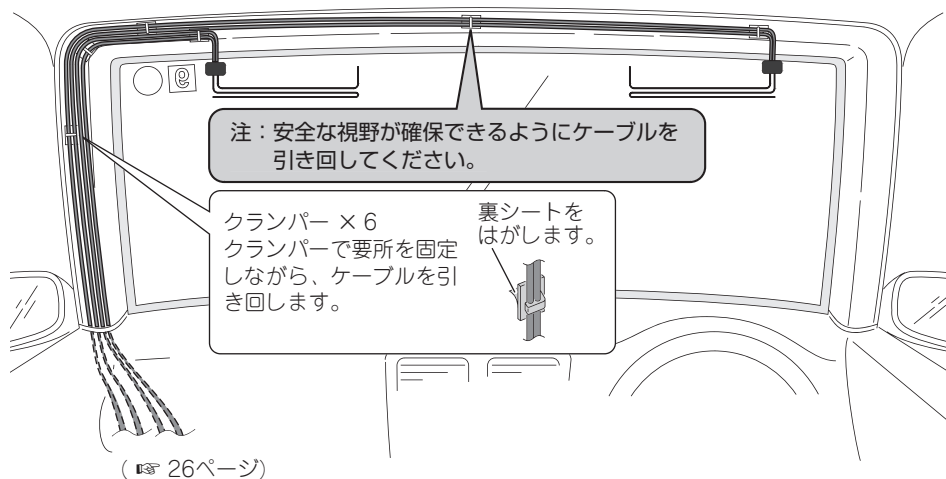
7 残りのフィルムアンテナも同様に貼り付ける

8 ブースターアンプをフィルムアンテナの金属部に貼り付ける

ブースターアンプには左用、右用があります。①は左側に、②は右側に貼り付けてください。



9 ケーブルを引き回す



10 内張りを元に戻す

接続・取り付けが終わったら

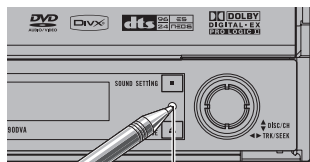
接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

3 車のエンジンをかける



4 本機の動作を確認する (取扱説明書)